

1日、県内で一斉にイセエビ漁が解禁され、けさ延岡市北浦町市振の古浦新港では今シーズン初の水揚げがあった。

## 延岡市北浦町

# イセエビ漁解禁

きょう  
初水揚げ

古浦新港

9/2

高値で取引

サイズも良好

北浦漁業協同組合  
(宇野田定信組合長)

からは、5隻が出漁。  
午前6時半すぎには最

初の船が入港して水揚  
げ作業。その後も次々

とイセエビ漁船が戻っ  
てきては水揚げした。

水揚げされたイセエ  
ビは、漁協職員らが丁

寧に手網ですくい、傷  
を付けないよう水槽に  
移された。けさの水揚  
げ量は34.2キで、昨

55円(浜値)の高値  
で取引された。  
同漁協販売課の加藤  
光裕さん(21)は「初

年初日の4キから比べ  
ると大幅に増えた。サ  
イズの良いものを中心  
に幅広くそろった。  
入札が始まると、集  
まった仲買人が目を凝  
らして吟味。1キ当た  
り100000円から5万  
55円(浜値)の高値  
で取引された。  
同漁協販売課の加藤  
光裕さん(21)は「初  
日としては豊漁で良い  
値も付いた。今シーズ  
ンは期待できそうで  
す。今月15日には、こ  
ちらで行う『海新山鮮  
きたうら市』で、イセ  
エビもお手ごろ価格で  
並びます。ぜひ来場  
ください」と話した。  
漁期は来年4月15日ま  
で。



今期初水揚げされたイセエビ



水揚げ作業を行う漁協職員(けさ、延岡市北浦町)



延岡市北方町上崎の  
果樹農家甲斐佐一郎さ  
ん(80)の農園で、「幻

の果実」と言われるポ  
ポーの収穫が行われて  
いる。ポポーは15〜20  
センチほどの楕円(だえん)  
形で淡い緑をした果



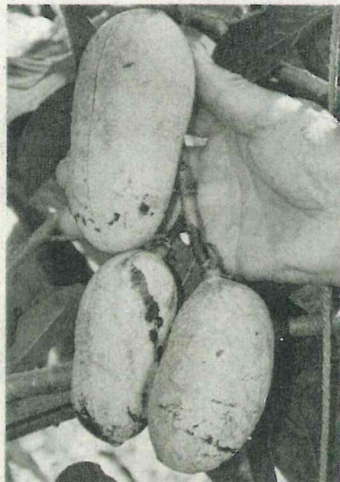
ポポーの収穫作業に汗を流す甲斐さん(右)  
と妻の満理江さん(延岡市北方町上崎)

# 幻の果実 ポポーを収穫 岡

9/2 北方町の甲斐さん方 9月上旬ごろまで 延

実。果肉は黄色や薄い  
オレンジ色をしてお  
り、バナナとマンゴー  
を足したようなおいし  
さで、ファンが増えて  
いるという。

戦後の一時期、国内  
で普及したものの、そ  
の後、栽培されなく  
なったという。果樹農  
家として約60年のキャ  
リアを誇る甲斐さん。  
13年前に、「珍しい果物  
を」と思い立ち、妻満  
理江さん(77)と一緒に  
17年から出荷を始め  
た。



収穫期を迎えたポポーの果実

感覚で判断していま  
す。最近はややく分  
かるようになりまし  
た」と満理江さん。

収穫期は今月下旬か  
ら9月上旬までと比較  
的短い。JA延岡の産  
地直売所「ふるさと市  
場」や道の駅「北方よっ  
ちみろ屋」に出荷して  
おり、この季節になる  
と、懐かしい味を求め  
る人や熱心な人から  
「いつから出荷されま  
すか」と問い合わせも  
相次ぐ。遠くは東京か  
ら注文を受けたことも  
ある。

市内のレストランで  
は、デザートやスープ  
にして提供する店もあ  
り、人気が上昇してい  
るほか、農園を見学し  
たいという人も年々増  
えているという。